

平成 31 年度「男女共同参画推進のための学び・キャリア形成支援事業（研究協議会）」
第 3 回 検討会 2

議事録

- 1 日時 2019 年 10 月 21 日（月） 14：40 ～ 15：00 DVD 視聴
15：00 ～ 17：00 第 3 回検討会 2
- 2 場所 日本女子会館 We learn
東京都港区芝公園 2-6-8 日本女子会館ビル 5 階
- 3 出席者 桜井陽子、柴田美代子、竹原正篤、谷口年江、山屋理恵、花岡ナホミ
欠席者 小園弥生
- 4 配布資料
 - ①第 2 会検討会 2 議事録
 - ②令和元年度文部科学省委託事業「男女共同参画推進のための学び・キャリア支援事業」研究協議会企画案
- 4 議事
 - (0) 議事に先立ち、WACCA から借りた「地元ケーブル TV ニュース」と「NHK は一とねっと TV」を希望者のみ視聴した。
 - (1) 前回振り返り（議事録確認）15:15～
「資料 1：第 2 回検討会 2 議事録」を読みあわせながら、主にプログラム構成要素、連絡先について各委員から出された意見を確認した。
 - (2) モデル事業の要素の抽出 15:20～
 - ①前提（要件、制約）
 - ・ 困難な状況にある女性のための学び直しプログラムのモデル化
 - ・ 男女センター事業として実施
 - ・ 協議会会員館で実施できる現実的な内容とする（予算、人的リソース）
 - ②対象者
 - ・ 対象者の具体化(絞り込み)：年齢層、背景等
 - ・ “学び直し” とは：何を学びなおすのか
 - ③男女センターの資源、強味
 - ④連携先の社会資源

- ・大学、民間団体等

前回の意見を踏まえ、それを更に整理、検討した。その結果、予算とそれによって制約されるマンパワーを考慮しつつも、一方センターのもつ利点を取り入れた現実的なプログラムとして、以下のように考えをまとめた。

- ・プログラムの構成要素：以下のことを総合的に支援する（＝センターの強み）

- ① 個別相談：対象者は40代以下で、10代の時に十分な学校教育を受けていない女性。就職、資格習得、高卒認定試験、あるいは義務教育レベルの“読み書き”“計算能力”の修得等、個別の自己目標がもてるように、まずは個別相談、キャリア相談をする。目標を持てる人物を対象とする。

これは、プログラム応募時から、終了時（本人の目標を達成できた時）まで伴走して行く。（＝センターの強み）

- ② 個別学習：センター自身で実施するのは難しい。NPO等、地域の資源を利用する。新しい連携先を開拓することが必要になる。これをきっかけに新たな社会連携ができる可能性があるともいえる。

例) 退職教員への呼び掛け。

他の機関と連携する場合には、ジェンダーの視点を講義する必要があり、この部分もプログラム的一部分とする。

- ③ 既存の講座の活用：自己肯定感を高めるための講座、心身を整えるための講座、など、ガールズ支援プログラムで行ったようなもの。たんなる学習支援だけでなく、総合的に支援できる。（＝センターの強み）

- ④ 職業紹介：希望する者には、既存講座③として、あるいは地域資源（ハローワーク等）と連携する。

- ⑤ 中間就労システム：希望する者には、中間就労の場を提供する。センター内のアルバイト、あるいは地域資源（NPO等）と連携する。

- ・実施方法

- ・予算は各センターで。
- ・1つのマニュアルがあるような確定したプログラムではない。
- ・上記要素の一つ一つは、各センターの状況（資源、予算等）によって、変幻自在にプログラム作成ができる、というプログラム。
- ・実施希望のセンターを募り、実施可能なプログラムの策定を協議会が手助けする。研修を実施して、それを各センターに持ち帰り、実施。
- ・すでに先行実施しているセンター、民間団体の事例を集め、紹介する。

- ・その他

- ・将来的には on line での学習支援の可能性
- ・大人女性の学習室の必要性 若者の支援は数あるが、大人女性の学習支援を特

化して行っている機関はない。男女センターで行えないか。

(3) プログラムの概要作成と図式化、まとめ方の検討

担当者については、未定。後日決定後、桜井さんと相談の上、図式化してまとめ、12月5日には、それをもとに湯澤先生からコメントをいただくことにする。

(4) 第4回検討会について 16:40～16:50

① 開催日時：12月5日（木）10:00～

② コメンテーター：湯澤直美（立教大学コミュニティ福祉学部教授）

(5) 研究協議会（報告会）について

開催日：2020年2月17日(月)

場 所：東京ウィメンズプラザ

基調講演：坂東真理子

ポスターセッション：10団体 未定、次回検討する。

パネルディスカッション：①野依智子

②湯澤直美

③小園弥生